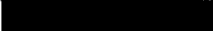


英語科学習指導案

指導者：  印
指導教官：  印

1. 日時 2023年6月6日(火) 第5校時(13:35-14:25)
2. 学年・学級 第3学年1組 35名(男子18名、女子17名)
3. 場所  2号館4階 3-1教室
4. 単元 Unit2 Our School Trip pp.21-29 ('Here We Go!' English Course)
Part3 初めての景色 pp.26,27 (本授業)

5. 単元の目標

- 【リスニング】 会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。
- 【スピーキング(やりとり)】 おすすめの場所について、教え合うことができる。

6. 本時の目標

【知識技能】

- ・現在完了形<完了用法> have + 過去分詞「～し終わっている、～してしまった」(*以下:完了用法)の英語表現を理解し、他者に説明することができる。
- ・現在完了形<経験用法> have + 過去分詞「～したことがある」(*以下:経験用法)の英語表現を理解し、肯定文・否定文・疑問文で表すことができる。

【思考・判断・表現力】

- ・完了用法が使われる場面をイメージし、完了用法を用いて just(ちょうど)、already(もうすでに)、finally(やっと)を適切に選択し、場面にあった英語表現をすることができる。
- ・経験用法の文法を使い、「これまでに経験がある(ない)こと」について英語でたずねたり、クラスメイトに伝えることができる。

【学びに向かう力・人間性】

- ・間違いを恐れず、英語で自分の考えなどを他者と共有することができる。
- ・他者の発言に対して、ポジティブな返答をし、互いの理解を深めることができる。

7. 教材観

本単元では、教科書のストーリーに沿って現在完了形<完了用法>、<経験用法>を学ぶ。Part1では、Kotaらがついに修学旅行先の宮島に到着し、きれいな景色を見て写真を撮ろう

としている場面を通して、現在完了形完了用法を学ぶ。Part2では、彼らが写真を撮ろうとした際に Tina がカメラをトラム（路面電車）に忘れてきたことに気づき、Hajin が Tina のために今にも出発しそうなトラムに取りに戻る場面が描かれており、そこで現在完了形完了用法の疑問文及び否定文を学ぶ。Part3では、Hajin がトラムの出発までに間に合い、無事カメラを回収することができ、皆できれいな夕日を見るという場面を通して、現在完了形経験用法を学ぶ。ただ単に現在完了形の用法を学ぶだけでなく、この教科書のストーリーの中で、現在完了形がどのような場面で用いられているか考えさせることをねらいとする。

8. 生徒観

生徒の傾向として、「自己効力感」が低い。さらに今年度の3年生の中学校生活で新型コロナウイルスの影響を大きく被った学年であり、普段のクラスの雰囲気はおとなしく授業内の発言は少ない傾向にあるが、3-1は3年生の中では比較的クラス内活動が活発なクラスであり、生徒の中には海外文化に興味を持っている生徒がいる。一方で、英語学習に対するモチベーションが低い生徒や英語に対する苦手意識が強い生徒も在籍していることが現状にある。そのため、本授業ではペア活動を積極的に取り入れるとともに、授業者が率先して雰囲気盛り上げ、生徒が間違いを恐れずに発言できるような学習環境を整える。

9. 指導観

生徒が前向きに授業に取り組むことができるよう以下の3点に気を付けて指導にあたる。

1つ目は、“Don't be afraid of making mistakes（間違いを恐れるな*be afraid of : Unit2 Part1で習った表現）”を授業内で教師が何度も繰り返し発言し、生徒が失敗を恐れずに発言できる環境を整えることである。加えて、“侍 English（日本人っぽい英語のアクセントだと揶揄される Japanese English のポジティブな呼び名）”の知識を伝え、生徒自身の英語の発言や発音に誇りをもってもらうように働きかける。その上で授業の中でペアワークを増やすことで、生徒同士のポジティブなコミュニケーションが常に行われる活気あふれるクラスにする。また、生徒に質問を投げかける際には、生徒に圧力がかからないように、生徒個人ではなくペアにあてる。さらに、発言した生徒に対しては、授業者や周りの生徒がポジティブなフィードバックを与えることができるような雰囲気を作るよう心がける。

2つ目は、スローラーナーを含めた幅広い生徒にとって、楽しく満足感のある授業を展開することである。すべての生徒が「できた」と実感し、成功体験を味わうことができるよう努力する。

3つ目は、授業で学んだ知識や表現に関して複数回の復習を行うよう心がけることである。さらに、チャンキング（バラバラの情報をグループ化して記憶に留める）により、生徒の知識定着を強化し、生徒の語学力向上に寄与する。

これらの指導観を通して、生徒の語学学習への興味を引き出し、英語力を向上させると同

時に、自己を尊重する力と他者を尊重する力を高める。

10. 評価基準

<授業中の評価項目>

	A 知識技能	B 思考・判断・表現力	C 学びに向かう力・人間性
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<完了用法> have + 過去分詞「～し終わっている、～してしまった」の英語表現を理解し、他者に説明することができる。 ・現在完了形<経験用法> have + 過去分詞「～したことがある」の英語表現を理解し、肯定文・否定文・疑問文で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<完了用法> が使われる場面をイメージし、完了用法を用いて just (ちょうど), already (もうすでに), finally (やっと) を適切に選択し、場面にあった英語表現をすることができる。 ・現在完了形<経験用法> の文法を使い、「これまでに経験がある(ない)こと」について英語でたずねたり、クラスメイトに伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず、英語で自分の考えなどを他者と共有することができる。 ・他者の発言に対して、ポジティブな返答をし、互いの理解を深めることができる。

11. 単元の指導と評価の展開 (全7時間)

学習内容	主な評価基準【観点】
第1時 5/26(金)	<p><Unit2 Part1 文法解説></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<完了用法> have + 過去分詞 (～し終わっている、～してしまった) の肯定文について理解し 【A】、話すことができる。 【B】 ・英語でコミュニケーションをとろうとしている。 【C】
第2時 5/30(火)	<p><Unit2 Part1 本文解説></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<完了用法> have + 過去分詞 (～し終わっている、～してしまった) の肯定文を聞き取り 【A】、書くことができる。 【B】 ・積極的にチャンキングを用い、知識をつなげようとするようとする。ペアとコミュニケーションをとろうとする。 【C】
第3時 5/31(水)	<p><Unit2 Part2 文法解説></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<完了用法> have + 過去分詞 (～し終わっている、～してしまった) の否定文・疑問文について理解し 【A】、話すことが

	<p>できる。【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者にポジティブな返答をしようとする。 <p>間違えを恐れず、挑戦しようとする。【C】</p>
<p>第4時 6/1(木)</p>	<p><Unit2 Part2 本文解説></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<完了用法> have + 過去分詞 (～し終わっている、～してしまった) の否定文・疑問文を聞き取り【A】、書くことができる。【B】 ・World Englishes について学び、自分自身の発音に自信を持ち、表現しようとする。【C】
<p>第5時 6/6(火)</p> <p><本時></p>	<p><Unit2 Part3 文法解説></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<経験用法> have + 過去分詞 (～したことがある) の肯定文・否定文・疑問文について理解し【A】、実際の場面で用いることができる。【B】 ・他者にポジティブな返答をしようとする。 <p>間違えを恐れず、前向きに挑戦しようとする。【C】</p>
<p>第6時 6/8(木)</p>	<p><Unit2 Part3 本文解説></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<経験用法> have + 過去分詞 (～したことがある) の肯定文・否定文・疑問文を聞き取り【A】、書くことができる。【B】 ・自らペアや先生に質問をしようとし、学びにいこうとする。【C】
<p>第7時 6/9(金)</p>	<p><Unit2 Part1 Goal></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総復習

12. 本時の展開

(1) 本時のめあて

【知識・技能】

- ・現在完了形<完了用法> have + 過去分詞「～し終わっている、～してしまった」の英語表現を理解し、他者に説明することができる。(*1)
- ・現在完了形<経験用法> have + 過去分詞「～したことがある」の英語表現を理解し、肯定文・否定文・疑問文で表すことができる。(*2)

【思考・判断・表現】

- ・現在完了形<完了用法>が使われる場面をイメージし、完了用法を用いて just (ちょうど), already (もうすでに), finally (やっと) を適切に選択し、場面にあった英語表現をすることができる。(*3)
- ・現在完了形<経験用法>の文法を使い、「これまでに経験がある(ない)こと」について英語でたずねたり、クラスメイトに伝えることができる。(*4)

【学びに向かう力・人間性】

- ・間違いを恐れず、英語で自分の考えなどを他者と共有することができる。（*5）
- ・他者の発言に対して、ポジティブな返答をし、互いの理解を深めることができる。（*6）

(2) 本時の指導計画

過程 (分)	学習活動	指導上の留意点	評価
導 入 (5)	<p><ウォームアップ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベアの確認 ・チャンキング ・Don't be afraid of making mistakes. 「失敗することを恐れないで！」 ・人間は忘れる生き物 <p><復習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単複同形を3つ ・褒め言葉 Positive Words を5つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・机をつけ、ベアをつくる つけていない生徒がいれば、「机の隙間は心の隙間」と助言する ・知識を関連付けてかたまりで覚えることを意識させる ・前回授業で説明した“Don't be afraid of making mistakes.”の意味を確認し、生徒のやる気を促す ・エビングハウスの忘却曲線の知識を伝え、復習をたくさんすることの大事さを伝える ・単複同形の単語をベアで確認する その単語が単複同形である理由も説明 ・Positive Words を発言した生徒には、そのまま Positive Words でほめ返す 先生がなぜ Positive Words を大切にしているのか伝える 	*6
展 開 ① (10)	<p><単語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回までの重要単語 ・Part3 の新出単語 <p><現在完了形完了用法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形完了用法の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音や抑揚に注意し、大きな声で発話させる ・単語をイメージで捉えさせるため、写真だけを見せて単語を想起させる ・チャンキングを用い、知識をつなげる工夫をする ・今日の授業で使う動詞の過去分詞形を確認させる 	*1, 3, 5, 6

		<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形<完了用法>の文を用い、just/already/finally のニュアンスの違いを確かめる ・実際にペアで好きな副詞を選択し場面を想像しながらやりとりをする ・現在完了形<完了用法>を使った Jppon グランプリ形式のクイズを行い、2人教壇に立って挑戦してもらう ・挑戦してくれた生徒にはポジティブなフィードバックをおくる 	
展 開 ② (10)	<p><現在完了形継続用法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形継続用法の文法説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドで問題を見せ、ペアで考えさせ、答えさせる ・机間巡視を行い、ペアで活動が行えているかを確認し、必要に応じて助言する ・黒板の端に問題のヒントを書き、英語が苦手な生徒に対してサポートを行う 	*2, 4, 5, 6
展 開 ③ (10)	<p><休憩></p> <ul style="list-style-type: none"> ・World Englishes、侍 English ・正確さと流ちょうさは両立しない ・外国語副作用 <p><経験用法クイズ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介クイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・World Englishes: 世界にはいろいろな英語があり、それぞれの英語を尊重し認めるという考え方を伝え、生徒が話す英語に自信をもってもらう ・先生が Don't be afraid of making mistakes. と常に言っている理由を話す ・外国語副作用: 外国語を使うと思考力がさがる ・現在完了形経験用法を用い、先生がしたことがあることについてペアで予想する 	*4, 5, 6
展 開 ④ (13)	<p><プリント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hop&Step ・答え合わせ ・Jump ライティングアクティビティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い、困っている生徒を支援するとともに、間違えやすい問題を把握する ・ペアで、行ったことがある場所について意見交換をする 	*2, 4

ま と め (2)	<今日習ったことの再確認> ・ have gone to と have been to の違い ・ 抜き打ち New Words ・ 感想 ・ プリント回収	・ 今日知識が言語化できているかペア で確認する ・ 今日学んだことを具体的に書かせる	*4
--------------------	---	---	----

(3) 本時の準備物

- ・ PPT
- ・ プリント (Unit2-3 Have you ever seen him like that? 教科書 p.26-27)

13. 座席表

14. 御高評欄

